

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 特定非営利活動法人 市民社会研究所

1 事業の趣旨・目的

四日市市に住む外国人は近年の不況の影響を受け減少傾向がみられるものの、依然ブラジル人を中心に現在約9,000人の外国人が居住し、定住化を望む傾向がみられる。

それに伴って外国人青少年の教育問題や就職問題が顕在化しており、なかには日本語が不十分であるために、進学や就職などに希望が持てない青少年が少なくない。また、就労の現場においても、日常会話だけでなく「議論する」「発表する」「書く」などの日本語力が必要になっており、日本語のレベルアップを望む社会人や留学生が増えている。

このことから、ディスカッション、スピーチや作文の練習等を通して、日本語で「書く」「話す」ことに重点をおいて指導する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

| 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | 議題 | 会議の概要 |
|--|--------------|--|----------------|--|
| 【第1回】 平成23年 6月7日(火) 18:30~20:30 | 四日市 なやプラザ | 浅野幹夫 朝妻泰孝 和田明子 坂口亘弘 牧野智彦 金 憲裕 小林 範子 松井真理子 | 講座内容の検討 | ・運営委員の紹介 ・講座内容検討 (目的・対象者・日程・ 会場・講師・テキスト等) ・広報について ・講座講師 (チラシ配布先、HP掲載等) |
| 【第2回】 10月16日(日) 13:30~15:30 | 四日市 なやプラザ | 浅野幹夫 朝妻泰孝 和田明子 坂口亘弘 牧野智彦 金 憲裕 秋月 亨 松井真理子 | 講座日程・内容の 確認 | ・講座内容の確認 (日程・会場・講師等) ・受講生の募集状況報告 |

| | | | | |
|--|--------------|---|--------------------|-------------------------|
| 【第3回】 平成24年 1月15日(日) 13:30~14:30 | 四日市 なやプラザ | 朝妻泰孝 和田明子 坂口亘弘 牧野智彦 金 憲裕 秋月 亨 松井真理子 | 講座終了の報告 次年度について | ・講座内容の報告 ・講座の成果および課題 |
|--|--------------|---|--------------------|-------------------------|

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 外国人市民のための日本語講座「日本語で表現しよう」
- ② 開催場所 四日市総合会館
- ③ 学習目標
 - ・進学、就職、資格取得などで必要となるディスカッション、作文、スピーチの力を身につける
 - ・意見や感想を日本語でわかりやすく伝えたり、説明できるようにする
- ④ 使用した教材・リソース
オリジナル絵教材、 Write Now! KANJI FOR BEGINNERS
- ⑤ 受講者の募集方法
 ※募集チラシをポルトガル語、英語、中国語の3言語（日本語併記）に翻訳し、配布およびホームページに掲載。
 ≪チラシ配布先≫
 - ・ 外国人生徒在籍学校（市立中学校・県立高校）
 - ・ ブラジル人学校
 - ・ 四日市国際交流センター
 - ・ 四日市市内の日本語サークル
 - ・ 市役所内の外国人登録手続き窓口
 - ・ 地区市民センター（24ヶ所）
 - ・ 三重県国際交流財団
 - ・ 四日市市笹川地域近辺の教会

- ・ 外国人集住地区内の団地で配布

《ホームページ掲載》

- ・ NPO 法人市民社会研究所
- ・ 三重県国際交流財団

⑥ 受講者の総数 33 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳)

ペルー国 : 10 人, ブラジル国 : 4 人, 中国 : 12 人, ベトナム国 : 2 人,

フィリピン国 : 3 人, 韓国 : 1 人, タイ国 : 1 人, 不明 : 0 人

⑦ 開催時間数(回数) 57 時間 (全 19 回) ※1回は台風のために中止

⑧ 日本語教室の具体的内容

| 回 (※) | 開催日 | 時間数 | 受講 人数 | 国籍・母語(人) | 教授者・補 助者人数 | 内容 |
|----------|-------------------------|-----|----------|--|----------------|---|
| ① | 7月9日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 18人 | ペルー・スペイン語(7人) 中国・中国語(5人) ブラジル・ポルトガル語(2人) 韓国・ハンガール語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ベトナム・ベトナム語(2人) | 教授者2人 補助者1人 | 自己紹介の方法 作文・発表 |
| ② | 7月16日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 20人 | ペルー・スペイン語(7人) 中国・中国語(8人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 韓国・ハンガール語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ベトナム・ベトナム語(2人) | 教授者2人 補助者1人 | 隣同士で話し合い、 相手のことを紹介 |
| ③ | 7月23日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 19人 | ペルー・スペイン語(7人) 中国・中国語(6人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 韓国・ハンガール語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ベトナム・ベトナム語(2人) タイ・タイ語(1人) | 教授者2人 補助者1人 | 絵を見て説明・ストーリーを 考える (グループワーク) 絵カード使用 |
| ④ | 7月30日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 19人 | ペルー・スペイン語(7人) 中国・中国語(6人) ブラジル・ポルトガル語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ベトナム・ベトナム語(2人) タイ・タイ語(1人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文 章に修正 |
| ⑤ | 8月27日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 11人 | ペルー・スペイン語(4人) 中国・中国語(4人) ブラジル・ポルトガル語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) | 教授者2人 補助者1人 | 絵を見て説明 (動作・表情・身体) 絵カード使用 |

| | | | | | | |
|---|--------------------------|-----|-----|--|----------------|--|
| | | | | タイ・タイ語 (1人) | | |
| ⑥ | 9月3日(土) | *** | ** | 台風のため中止 | *** | *** |
| ⑦ | 9月17日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル・スペイン語 (3人) 中国・中国語 (5人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「震災をきっかけに考えたこと」 震災のニュースの語彙 |
| ⑧ | 9月24日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 13人 | ペル・スペイン語 (3人) 中国・中国語 (5人) ブラジル・ポルトガル語 (2人) フィリピン・タガログ語 (2人) タイ国・タイ語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文章に修正 |
| ⑨ | 10月1日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 11人 | ペル・スペイン語 (3人) 中国・中国語 (4人) ブラジル・ポルトガル語 (2人) フィリピン・タガログ語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「好きなことば」 (好きなことばとその理由) |
| ⑩ | 10月8日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル・スペイン語 (2人) 中国・中国語 (3人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (2人) タイ・タイ語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文章に修正 |
| ⑪ | 10月15日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル・スペイン語 (2人) 中国・中国語 (4人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「公共施設でのマナー」 (禁止・義務等の表現) |
| ⑫ | 10月23日(日) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル・スペイン語 (4人) 中国・中国語 (5人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文章に修正 病院で使われる表現 |
| ⑬ | 10月29日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 10人 | ペル・スペイン語 (2人) 中国・中国語 (5人) ブラジル・ポルトガル語 (2人) フィリピン・タガログ語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「世の中からなくなってもいいもの」 漢字：スーパーで見えるもの |
| ⑭ | 11月5日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル・スペイン語 (2人) 中国・中国語 (5人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文章に修正 |
| ⑮ | 11月12日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 8人 | ペル・スペイン語 (1人) 中国・中国語 (6人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「中学生の携帯電話の使用」 (禁止・義務・提案等の表現) 語彙：形容詞 |

| | | | | | | |
|---|--------------------------|-----|-----|---|----------------|--|
| ⑯ | 11月19日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 10人 | ペル国・スペイン語 (4人) 中国・中国語 (4人) ブラジル・ポルトガル語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | 前回の復習 前回の作文を正しい文章に修正 |
| ⑰ | 11月26日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 10人 | ペル国・スペイン語 (4人) 中国・中国語 (6人) | 教授者2人 補助者1人 | テーマ「みんなが幸せになるために」 (提案・主張・希望の表現) Eメール・携帯メールの書き方 |
| ⑱ | 12月3日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 9人 | ペル国・スペイン語 (3人) 中国・中国語 (3人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | 各自でスピーチのテーマを決め、 他の受講生のテーマに関して全員で意見を出し合う |
| ⑲ | 12月10日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 13人 | ペル国・スペイン語 (5人) 中国・中国語 (5人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | スピーチの構成を考える 段落を考え、原稿を書く 擬音語・擬態語 |
| ⑳ | 12月17日(土) 13:30~16:30 | 3時間 | 10人 | ペル国・スペイン語 (3人) 中国・中国語 (4人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) フィリピン・タガログ語 (2人) | 教授者2人 補助者1人 | 発表会(各自が決めたテーマでスピーチ) 年賀状の書き方 |

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

- ・文章を書く前に、受講生同士の話し合いによって内容を深めさせ、書くことで内容を整理させる。その後、教授者の添削及び説明を通して日本語を習得してもらうように心がけた。
- ・人前での発表を通して日本語によるプレゼン練習に心がけた。



4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

- ・日本語の習得が不十分であるために、学校や職場で日本人とあまり会話できなかったが、教室でディスカッションやスピーチの練習をしたことで、積極的に会話

ができるようになり、日本語学習意欲が高まった。

② 学習者の習得状況

- ・最初は話すことに消極的であったり、単語や短文を並べるだけだった学習者が、次第に自分の意見を言い、また他者の意見に対してもコメントできるようになった。
- ・個人差はあるが、全員、語彙や表現が増えた。
- ・日本滞在歴が長く、ある程度のコミュニケーションはとれるが、正確さに欠ける学習者が書くことによって、助詞や接続詞など正しい表現に注意するようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- ・マンツーマン指導のボランティア教室が多い中で、グループでディスカッションしながら、自分の考えを「作文」に書く学習ができたことは意味がある。また、書くことにより、話し言葉と書き言葉の違いを理解し、会話練習だけではあいまいだった助詞や漢字の間違いが確認できるようになった。
- ・定時制高校に通っている受講生2名が、鈴鹿国際大学主催の「外国人日本語スピーチコンテスト」の予選（作文審査）を通過し、本選で「(財)鈴鹿国際交流協会賞」と「鈴鹿国際大学 国際交流センター賞」を受賞した。



④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・当初目的としていた「書く」「話す」ことのレベルアップは達成できた。
- ・受講者の満足度も高く、アンケートでも良好な結果が得られた。
- ・今後も自主的に勉強を続けると伝えてくる受講生もあり、学習意欲の向上にもつながった。
- ・受講者の中にアルバイト先が決まった人がおり、皆で祝福した。
- ・最終日の発表会には、外国人集住地区の日本語教室を運営している自治会関係者や、地域で日本語を教えるボランティアが見学に訪れ、意見交換した。自治会や地域の日本語サークルの取り組み方や課題など具体的に聞く事ができ、今後は連携を図っ

ていきたい。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

- ・電力調整の休日変更等の理由から送迎が困難になったため、欠席が多くなった。
- ・受講会場の総合会館は、行政関係者の使用頻度が高く、会場確保ができずに日程が変更になったことで、開始時より参加者が少なくなった。
- ・学生にも受講してほしいということで駅の近くに教室を設置したが、車で来る人には駐車場が離れていたり、無料駐車場代がないとの理由から、途中で受講を断念した学習者もいた。
- ・スーパーで見かける漢字や病院関係のことばなどクロスワードパズルなどを用いて入れていたが、好評だったため、毎回そういった類の学習項目を取り入れてもよかったのではないかと思う。
- ・提出した作文を正しい文章に書きなおすとき、戸惑う学習者もいた。

b. 今後の課題

- ・長期間の講座なので、学習者のモチベーションを持続させる工夫が必要である。
- ・会場の予約が規則のために三か月間とされ、全講座の会場予約ができないこと。
- ・学習者のニーズや日本語レベルの幅が大きいため、すべて受け入れることは難しいが、できる限り多くの期待にこたえられるよう工夫したい。

c. 今後の活動予定、展望

日常会話以上の受講を希望する外国人は多いが、地域の日本語教室ではまだその受け入れ態勢が整ってない。今回のような講座を続け、いずれは地域の教室に引き継いで行きたい。

⑥その他参考資料 受講者の意見より（原文）

- ・先生方の教え方が分かりやすい。
- ・いままでいいかんじがいます。たくさんことばをおぼえました。先生方どうもありがとうございました。
- ・先生とスタッフはやさしいし、いろいろ知識を教えて、本当にありがとうございました。もう一度参加したい。
- ・このこうざがとてもおもしろかったです。今日は終わりました。ざんねんと思います。新しいことばを習っていました。先生も親切な人です。
- ・先生が親切でじゅぎょうはとってもわかりやすかったです。これからも、ここのクラスで勉強したいのですが、今日で終わってしまうのが、ざんねんです。
- ・とってもよかったです。日本語を上手になりました。
- ・先生たちは外国人のためにわざわざじかんをつけて、とてもかんしゃしています。これからも外国人のためにがんばってください。